

関東大震災100年記念連続シンポジウム

首都直下地震にどう備えるか

関東大震災は1923年9月1日、相模トラフを震源に発生した海溝型地震で、関東各地とりわけ首都東京や横浜などが壊滅的な被害をうけ死者10万5000人、建物全壊10万9000棟、全焼21万2000棟という未曾有の地震被害となりました。東京では旧東京市の43%が焼失し、墨田区の旧陸軍本所被服廠跡では3万8000人が火災旋風によって命を失いました。

そして首都直下地震の切迫が指摘されているいま東京の地震に対する備えはどうなっているのでしょうか。

2023年は関東大震災100周年。東京の防災を考え、地震に強い東京をつくることをめざして、連続シンポジウムを開催します



墨田区旧陸軍本所被服廠跡の被災状況

第1回は以下のテーマをとりあげます

テーマ1 都市改造と地震

報告：東京災対連・末延渥史

テーマ2 地盤と地震被害

報告：科学者会議東京支部・中山俊雄

テーマ3 マンションの防災

報告：新建築家技術家集団・千代崎一夫

日時：9月1日(木) 開場：18:00 開会18:30

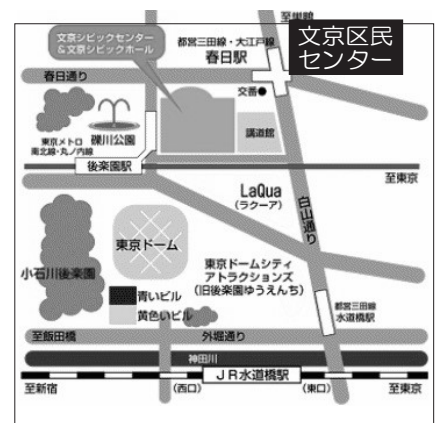
会場：文京区民センター 3-A会議室 最寄り駅：地下鉄メトロ春日駅

参加費：500円

－ Onoie併用・ZOOMは以下のアドレスもしくは右のQRコードからご参加ください －

ミーティングID：876 6285 2042

<https://us02web.zoom.us/j/87662852042>



当日は、マスク着用、消毒薬（用意します）での手洗いにご協力ください。発熱、体調不良の場合はご遠慮ください。

主催 革新都政をつくる会

共催 東京災対連

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館5階

tel 03-5978-4031 fax 03-5978-5052 e-mail: info@kakushintosei.org

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館6階 東京地方労働組合評議会内

tel 03-5395-3171 fax 03-5395-3240

<共催> 新建築家技術者集団東京支部 / 新日本婦人の会東京都本部

<後援> 東京民報社